

第29回 全国街路事業コンクール

全国街路事業促進協議会 会長賞

表彰事業名：都市計画道路 岐阜駅高富線 (梶川工区) 街路整備事業

表彰対象者：岐阜市 基盤整備部 道路建設課

事業概要

本路線は、中心市街地及び岐阜城下町を通る幹線道路で、市内のバス幹線軸を構成する道路であり、巨大地震等の発生時には、緊急輸送道路としての役割も担う重要な路線である。

また、「歩き」を中心とした健康寿命を延ばす施策として、周辺の歴史・文化を感じながら散策する「まちなか歩き」のコースとして位置付けている。

そこで、地域住民とも協議を重ね、まちづくり施策として自動車優先の社会構造から脱却し、歩行者や自転車利用者に優しい道路整備を一体的に進めることで、暮らすうちに誰もが健康で幸せになれるまち「スマートウェルネスぎふ」を推進した。

本事業により、交通機能の強化、防災機能の向上に併せて、緑豊かな自然環境や歴史・文化資産との調和を図るとともに、歩行者が安全で快適に散策することができる、“思わず歩きたくなる”空間の創出を目指し、事業を実施した。

- 事業延長：668m
- 幅員：17m(2車線)～25m(4車線)
- 事業費：約16億円
- 事業期間：平成20年度～平成27年度

表彰理由

本事業では、並行する国道と交通機能を分担し、都市計画変更により都市計画線を現況幅員に合わせ、歴史文化資産を保全した道路整備を実現したことが高く評価された。

また、歩行者と分離した自転車通行環境やバスレーンの整備、清流をイメージした「せせらぎ水路」の設置を行い、来訪者が安全・快適に散策できる気持ちの良いシンボルロードを創出したことも高く評価された。



整備前

